



今回の郷土料理♪

- ☆福井県☆
- ・焼き鯖寿司
 - ・里芋のころ煮
 - ・長寿なます



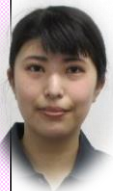
- ☆宮崎県☆
- ・チキン南蛮
 - ・がね
 - ・切干大根のまだか漬け
 - ・れんこんのごりごり汁



- ☆愛媛県☆
- ・鮭としらすのしょうゆ飯
 - ・いもたき
 - ・麦みそ汁



私は中学生の頃にマザーテレサの「人生の99%が不幸だとしても、最期の1%が幸せならば、その人の人生は幸せなものに変わる。」という言葉に感銘を受け介護士を目指しました。今、憧れだった介護士として日々働けることに大きな喜びと幸せを感じています。ご利用者様本位の介護の提供を目指し日々精進していきたいです。 別館1階 村上



要介護で介護保険サービスを利用しながらご自宅で暮らしておられる方のケアマネジャーをしています。ご利用者が大切にされていることを大切に思いながら支援させて頂きたいと思います。 居宅ケアマネジャー 永村



至らない点が多々あるかと思いますが、少しでも戦力になれるように頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。 デイサービス 橋本



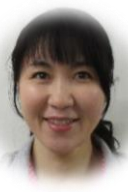
早く即戦力になれるよう日々努力してまいりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。 本館3階 村川



還暦を過ぎての勤務で他の職員さんと一緒にやっていけるか心配していましたが、いろいろと丁寧に教えて下さり、頑張っています。元々物づくりが好きなので、利用者様に寄り添いながら物づくりや他のレクリエーションを楽しくやっていけるように頑張ります。 デイサービス 木村



私は以前、高山ちどり別館で派遣で日勤勤務をしておりましたがその後、老健へ転職した後、高山ちどり別館へ職員として復職致しました。老健、特養の其々のメリット、デメリットを体験出来た事は視野の広がりにつながったと思います。 別館2階 立石



職員紹介



イベント報告 本館3階



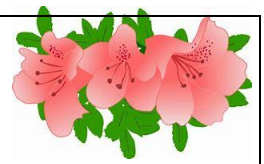
イベント報告 別館2階



本館3階では2月と3月に節分レクと、ひな祭りレクを開催しました。節分の日に職員が鬼に仮装して豆まきを行いました。鬼に豆に見立てたボールを投げストレス発散し、笑顔も見られました。3月はひな祭りケーキ作りをしました。みんなで、ひな祭りの歌を歌いケーキを食べて、穏やかな時間を過ごしました。

1月のレクリエーションでは、今年の一字と題し各利用者様で筆を使用して半紙に漢字一文字を書いて頂きました。最後にお一人ずつ書いた半紙を持ってもらい記念撮影をしましたが、皆様自信に満ち溢れた表情をされました。書いた半紙は手作りの額に貼り、居室へ飾らせて頂きました。2月は利用者様と職員でババロア作りと鬼退治ゲームを行いました。生クリームが泡立って頂きましたが、皆様真剣な表情で頂きました。出来上がったババロアを皆様各々デコレーションされ「美味しい！」と喜んで召し上がっておられました。鬼退治ゲームは皆様身体を良く動かされて楽しまれていました。





デイサービス



朝夕はまだ少し冷え込みますが、日中は汗ばむくらいの日差しの日も出てきて、春の訪れを感じますね。この記事を書いている頃にはまだ桜は咲いておりませんが、皆様が小綬鶏を読んでくださっている頃は、桜も見ごろを終えている頃でしょうか。

さてそれでは、1月、2月、3月のデイサービスの取り組みをご紹介します。

1月はお正月明けという事もあり、書初めや羽子板など、お正月にちなんだレクリエーションを行いました。また、手皮練り(てびねり)という粘土細工を作成して頂きました。取り組んでいる間の皆様のお顔は、まるで熟練の陶芸家のように、眉間にしわを寄せて作品作りに取り組まれていました。

2月にはききみみ茶という、お茶の種類を当てるゲームを行いました。普段飲んでいるものでも、目隠しをすると、なかなか分からないものですね。「これは〇〇茶かな?」と舌に全神経を集中しておられました。

2月3日には今年も節分の豆まきを行い、赤鬼、青鬼、黒鬼に扮したスタッフにボールを投げ、今年の厄を払っていただきました。その後は鬼と一緒にパシャリ!記念撮影を行いました。「怖い」と言いながらも、皆様お顔はニコニコしていましたよ。2月の中頃には、皆様と一緒にお雛様を飾りました。「立派やなー」や「見ごたえがあるね」とお話ししてくださいました。

3月には春を感じられるような作品作りを多く取り入れ、啓蟄にちなんだ虫作り、チューリップの壁画、桜の吊るし飾り、お弁当のおかずを入れるフィルムで作る花束など、にぎやかな作品展となりました。

4月には、ス々のお花見ドライブを予定しております。また、5月に向けた鯉のぼりや兜飾りなどの制作も予定しておりますので、また次回の小綬鶏にてご報告させていただきます。

編集後記

皆様こんにちは。今回編集担当の吉川と申します。新年度を迎え、初の小綬鶏となりましたがいかがでしたでしょうか。

4月春本番。新しい環境や新しい出会いのある時期ですね。新たな事に挑戦したくなる時期でもあるかと思えます。

私事ですが、体力作りを目的に「ジャザサイス」という、ダンスフィットネスなるものを始めてみました。慣れないステップや筋トシ、忘れた頃にやって来る筋肉痛に四苦八苦していますが、汗を流すのはとても気持ちの良いものです。

今年度、皆様に盛り沢山の話題をこの小綬鶏でお届けしたいと思います。今後ともご愛読をよろしくお願いたします。

担当 吉川



小綬鶏



新任のご挨拶



グループホーム高山ちどり 開設!

皆様には、お健やかに陽春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

高山ちどりで、本館・別館ともにコロナウイルス感染症が発生し、ご入居者及びご家族の皆様、関係する多くの皆様にご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

3月中旬よりマスクの着用の義務化もなくなり自己判断との事ですが、施設内でクラスターが起きないように、引き続き対策の徹底に努めて参ります。施設での窓越し面会等につきましても引き続きマスクの着用もお願い申し上げます。

3月より「グループホーム高山ちどり（認知症共同生活介護）」が開設しました。建設作業中は、ご面会等でお越しいただく際にご不便をおかけし誠に申し訳ございませんでした。

施設の前には、ご利用者の皆様と職員が共同で園芸等を行い楽しめるスペースも設けています。1ユニット9名で2ユニットあり、定員は18名となっています。外見は本館と別館の中間に位置するので本館と別館の色彩に近い色として2色づかに、内装は、高山町が茶笥の町であることから「和」を印象つける木目調を廊下の天井に、ご利用者の皆様が解りやすいように、部屋の扉の色を交互にさせて分けさせてもらいました。

認知症のご利用者が共同で生活をする、大きな家のような介護施設です。認知症になっても地域で生活ができるように支援して行きたいと思っております。

今後とも、ご支援ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

グループホーム高山ちどりの管理者 成田 保則



日頃より社会福祉法人晋栄福祉会「高山ちどり」の事業運営に際しまして、ご利用者様をはじめご家族様、地域の皆様と、その他多くの皆様方に温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。

この度、2023（令和5）年4月1日付で施設長を拝命いたしました鶴田幸一（つるたこういち）と申します。

私事ではありますが、異業種より福祉業界に転職し約20年が経ちました。この間、介護現場での介護職、福祉用具の営業職、社会福祉法人の事務職員や管理職、保育園の園長等、多岐にわたる仕事を経験してまいりました。今改めて振り返りますと、多くの方々、そして職員みんなに支えられ今日の自分があると思っております。

いつも共に働く職員が大きな存在であることをモットーとし、法人理念である『DO FOR US（誰かのために）』を常に念頭に置き、職員一丸となってご利用者様、ご家族様の想いを大切にしたい施設を目指していきたいと思っております。

また、地域の皆様からも信頼される施設となれるよう日々努力して参りますのでご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

高山ちどり・高山ちどりの別館 施設長 鶴田 幸一

